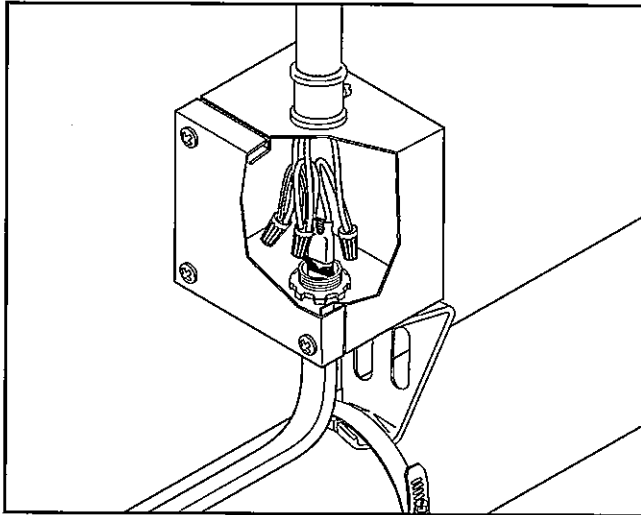


施工要領書



規格との適合

ヒータケーブル H612 および H622 は第三種発熱線 (JIS C 3651-1994) に適合します。

キット内容

項目	数	名称
A	3	表示ラベル(エンド表示用1枚、警告表示用2枚)
B	1	配管取付けブラケット
C	1	ロックナット
D	1	青色グロメット
E	1	
シーリングフィッティング(PF1/2、黒色グロメット付き)		
F	3	ワイヤナット
G	1	熱収縮チューブ(黄緑しま色)
H	2	熱収縮チューブ(黒色)
I	1	熱収縮チューブ(黒色)
J	1	シーリングガスケット
K	1	エンドシール(ジェル封入式)

はじめに

H900-JはヒータケーブルH612およびH622専用の電源接続キットです。本キットには電源接続用およびエンドシール用のキット部材が各々一つずつ含まれています。ヒータケーブルH612およびH622は配管の凍結防止や雨樋の氷結防止の両用途に使用できます。なお、アルミのフィーダ線への本キットの適用は止めてください。

施工および技術サポート

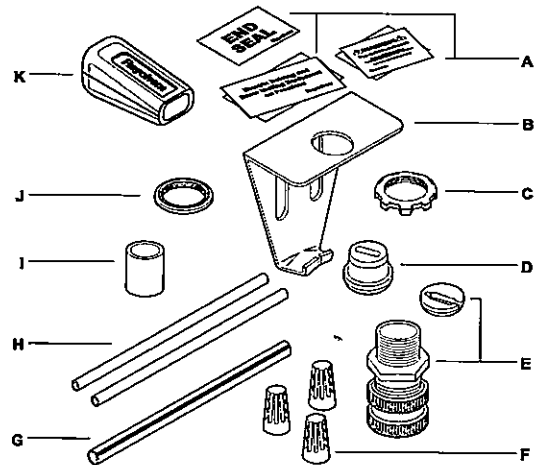
本書以外の情報については、別途『設計ガイド・施工および運転マニュアル』を参照してください。また、技術的な質問については弊社代理店あるいは弊社までお問い合わせください。

必要工具

●ラジオペンチ ●筆記具 ●プロパントーチまたはヒートガン ●ニッパー ●カッターナイフ ●モンキーレンチ ●ドライバ(マイナス&プラス)

その他必要な部材等

●1/2インチの電線管用挿入口またはPF1/2寸法のハブを持つ、周囲環境に適した接続箱
●使用用途によっては、レイケムが提供する他のアクセサリが必要となります。(例：縦樋氷結防止での引下げハンガー GMK-RAKE)



警告

本組立部品は電気機器です。適切な運転を確保して感電や火災を防ぐためには、正しく施工することが必要です。本施工要領書に記載されているすべての項目に従い、以下に述べる重要事項を必ずお守りください。

- 万一ヒータケーブルが損傷していたり、適切に施工されていない場合、放電火花による火災被害を最小限するために、さらに弊社の要求事項および電気設備技術基準に適合させるために、各ヒータケーブル分岐回路すべてに対し地絡検出装置を取付けること(ヒータケーブルのブレードには必ずD種接地工事を実施してください)。なお、従来の回路保護方式(配線用ブレーカ等)ではこの火花が防止できません。
- 指定された専用部品の使用により、安全性が確保されます。代用品やビニールテープ等の使用は避けること。
- ヒータ導線(母線)間の黒色部分(発熱体)は導電性があり、適切な施工を実施し濡らさないこと。短絡の可能性があります。
- 施工前と施工中において、組立部品やヒータケーブル両端は濡らさないこと。

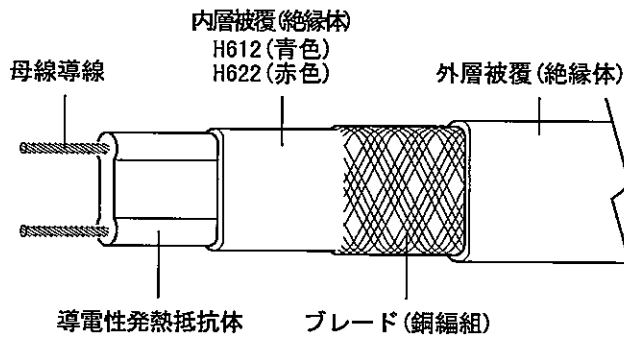
- 損傷した導線は過熱したり短絡したりする可能性があります。被覆や発熱体に切り込みを入れる際、ブレードや導線を損傷させないこと。
- 導線を互いに接触させると短絡します。導線同志は必ず離した状態にして置くこと。
- 熱による損傷を受けた組立部品は短絡の可能性があります。熱収縮作業にはヒートガンやプロパントーチを使用すること。トーチを使用する場合、炎は青色の強い炎を避け、黄色の弱い炎で使用する。また、熱収縮チューブを過熱、気泡や焦げの発生から守るには、炎を常に動かして置くことが必要です。
- 他の組立部品は熱しないこと。損傷を受けた部品は交換すること。
- ファイバグラス等の耐火保温材を利用すること。
- いつでも参照できるように、本要領書は大切に保管してください。

注意

作業中、熱収縮チューブを焦がしたり焼いてしまった場合、目、肌、鼻、喉に刺激性のある臭いが発生します。

電源接続キット

ヒータケーブル



1

- ・シーリングフィッティングを分解し、黒いグロメットを捨てる。
- ・図の様に各部品をケーブル上へ順番に挿入する。

圧縮ワッシャ：
平坦な面は青色グロメット側に合わせる。

青色グロメット

2

170 mm

- ・端末部より170mmの位置で外層被覆の周囲一周に軽く切り込みを入れ、さらに縦に切り込みを入れる。
- ・切り込み箇所を折り曲げ、被覆を剥ぎ取る。

ブレードや内層被覆を損傷させないこと。

3

- ・ブレードを外層被覆の切り出し方向へ押し戻し、弛ませる。

170 mm

- ・図の様に根元でブレードを押し広げ、開口部を作る。
- ・ケーブルを曲げてブレード上の開口部から中身のケーブルを引き出す。

4

- ・ブレードを片側に寄せる。
- ・ブレードを真っ直ぐにして、一本の線に絞り合わせる。

150 mm

- ・端末部より150mmの位置で内層被覆の周囲一周に軽く切り込みを入れ、さらに縦に切り込みを入れる。
- ・切り込み箇所を折り曲げ、被覆を剥ぎ取る。

5

導線を損傷させないこと

5 mm

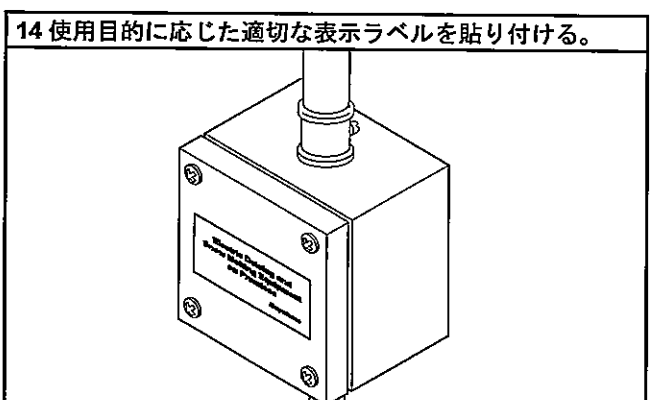
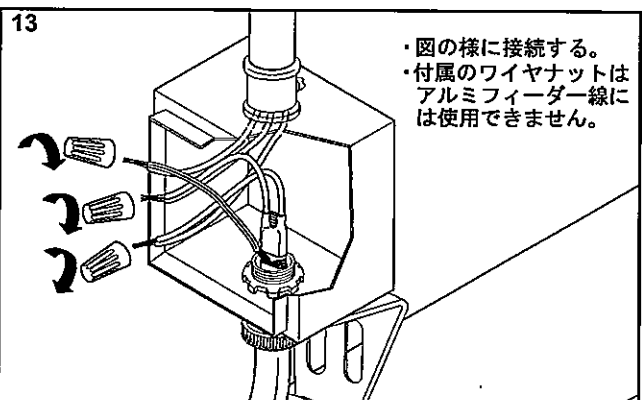
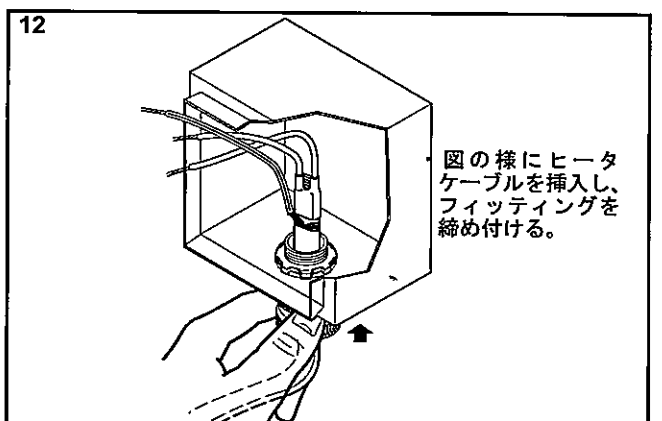
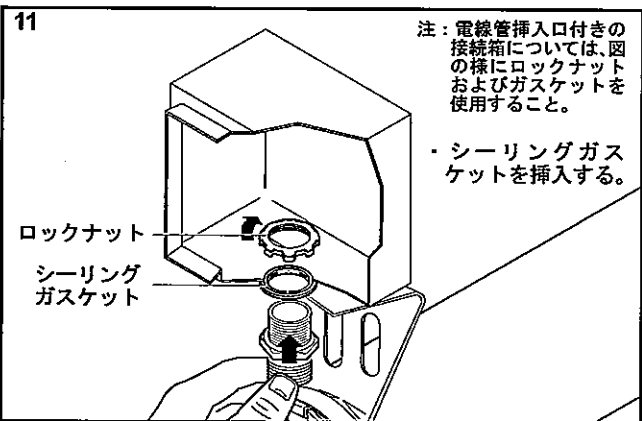
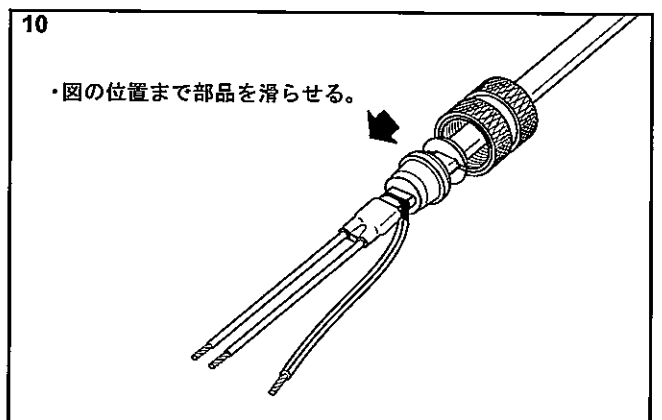
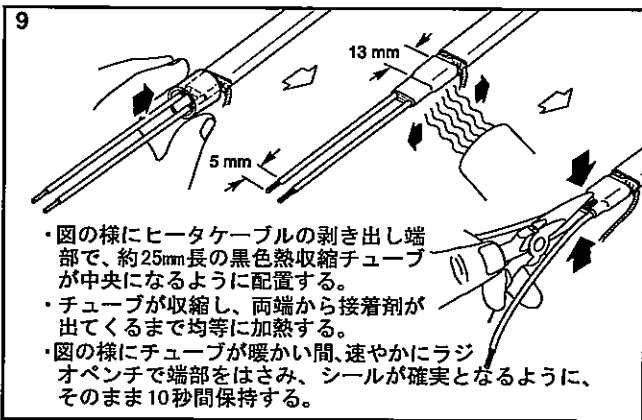
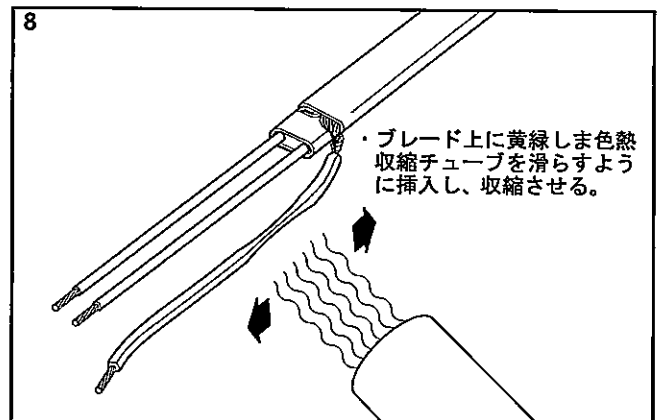
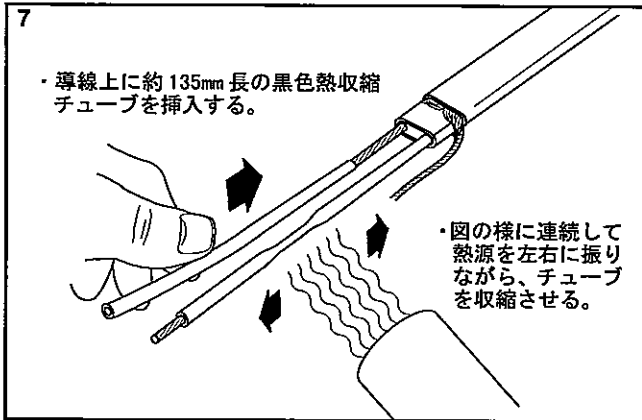
- ・図の様に発熱体の端部で、斜めの切り欠きを入れる。
- ・外側に折り曲げ、発熱体から導線を剥き出す。

6

- ・内層被覆が切り出された端部で、導線間の発熱体に切り込みを入れる。

- ・切り込み箇所を折り曲げ、発熱体を切り離す。
- ・図の様に切り離された発熱体を摘み、発熱体を剥ぎ取る。剥き出された導線から残った発熱体をきれいに取除く。

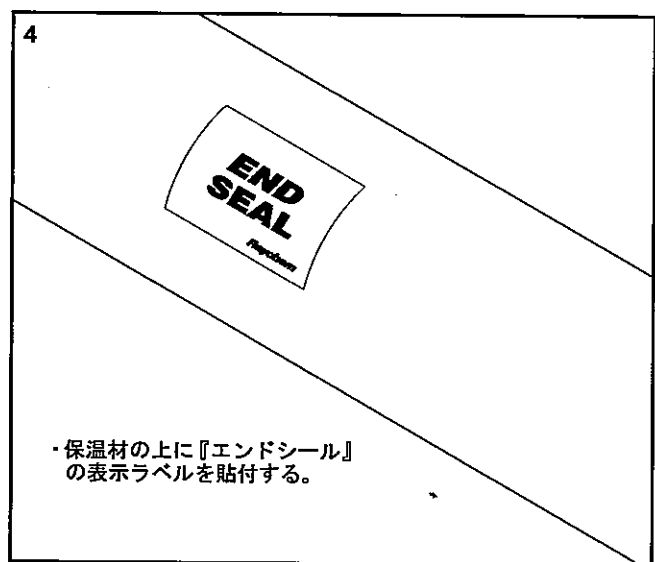
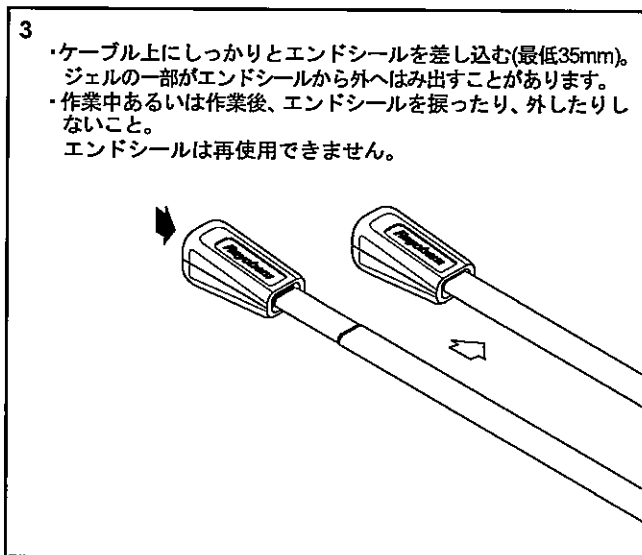
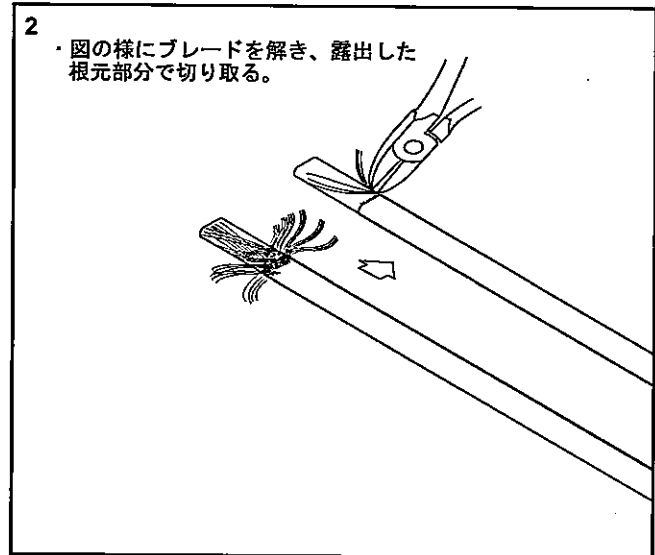
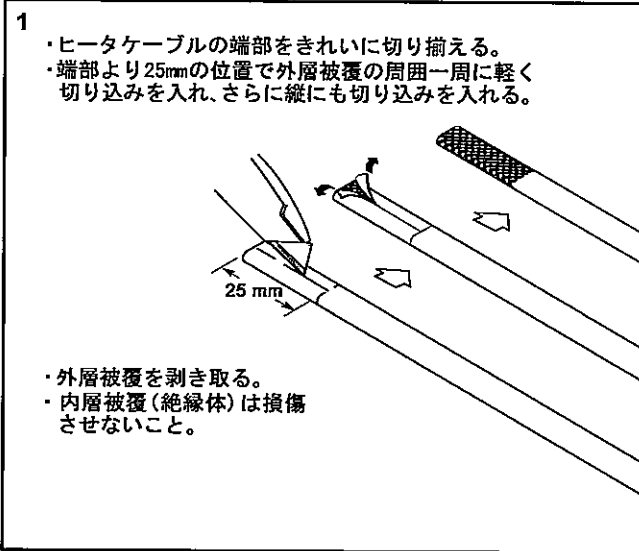
240
230
220
210
200
190
180
170
160
150
140
130
120
110
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10



240
230
220
210
200
190
180
170
160
150
140
130
120
110
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10

エンドシール

注意事項：構造上、エンドシールの挿入は一回だけとされています。一度、施工されたエンドシールは再使用できません。したがって、ヒータの施工準備が完了するまでエンドシールの取付けは避けてください。



tyco
Flow Control

Tyco Thermal Controls

タイコ エレクトロニクス レイクム株式会社

〒214-8533
川崎市多摩区登戸3816番地
電話 044-900-5108
FAX 044-900-5146

本カタログに記載する情報(図を含む)は、信頼のおけるものと考えていますが、その情報の完全性について保証するものではありません。ご使用の際には、選定した製品が用途に適合するかどうかについて貴社にて評価・確認していただく必要があります。当社の責任範囲は、製品の取引条件にて確認されることのみであり、製品の使用、誤使用等によって起こった偶発的、間接的損傷については、製造物責任法で定める場合を除き責任を負いません。仕様の変更は予告なしに行うことがあります。また、仕様に影響を与えない範囲での材料、工程等の変更を行うことがあります。但し、別途契約書にて確認した取引条件についてはそれに従うものとします。